

環境パフォーマンスデータ 第三者検証報告書

株式会社バンダイナムコホールディングス 御中



2018年8月3日
ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、株式会社バンダイナムコホールディングス(以下、バンダイナムコホールディングス)の責任において作成された「バンダイナムコグループのCSR活動報告2018」(以下、レポート)に記載される環境パフォーマンスデータのうち、バンダイナムコホールディングスから要請のあったものに対して検証及びレビューを実施した。

検証の目的は、レポートに記載される環境パフォーマンスデータの信頼性及び正確性を客観的証拠に基づき評価し、独立した立場から限定的保証意見を示すことである。レビューの目的は、レポートに記載されるその他の環境パフォーマンスデータの品質について、報告の改善のための評価を行うことである。

1. 検証及びレビューの概要

ビューローベリタスは、バンダイナムコホールディングスとの合意に基づき、2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日)における環境パフォーマンスデータに対して、以下の検証及びレビューを実施した。

1) 国内事業所の環境パフォーマンスデータに対する検証

検証対象	訪問サイト	検証手続き
CO ₂ 排出量、エネルギー、水、廃棄物、コピー用紙の各項目に関する環境パフォーマンスデータのうち、バンダイナムコホールディングスが指定したもの。 但し、各データにおける報告範囲は、バンダイナムコホールディングスの決定に基づく。	・バンダイナムコホールディングス 本社 ・株式会社バンダイナムコアミューズメント namco iias つくば店 ・株式会社バンダイナムコスタジオ 本社 ・株式会社バンダイ 東京スカイツリー イースタワー ・株式会社ロジパルエクスプレス 船橋営業所	・バンダイナムコホールディングス本社及び訪問サイトによって策定された文書類の確認 ・責任者・担当者へのインタビュー ・データの計測方法に関する現場査察 ・収集・報告されたデータと根拠資料との突合

検証は、現時点での最良の事例に基づき、ビューローベリタスが定める非財務情報報告に対する第三者検証の手順とガイドラインを使用して実施された。ビューローベリタスは、本報告書に示された範囲に対して限定的保証を行うにあたり、国際保証業務基準(ISAE)3000を参考にした。

2) 海外事業所の環境パフォーマンスデータに対するレビュー

レビュー対象	訪問サイト	レビュー手続き
CO ₂ 排出量、エネルギー、水、廃棄物、コピー用紙の各項目に関する環境パフォーマンスデータのうち、バンダイナムコホールディングスが指定したもの。 但し、各データにおける報告範囲は、バンダイナムコホールディングスの決定に基づく。	・バンダイナムコホールディングス 本社	・バンダイナムコホールディングス本社によって策定された文書類の確認 ・責任者・担当者へのインタビュー ・収集・報告されたデータと根拠資料との突合

レビューは、ビューローベリタスが定めるサステナビリティ報告に対する第三者レビューの手順を使用して実施された。

2. 検証及びレビューの結果

上述した方法及び活動によれば、

- ・検証及びレビューにおいて確認した情報が正確でない、及び対象期間における実績を適切に反映していないことを示す事項は発見されなかった。
- ・バンダイナムコホールディングスは、検証及びレビュー対象範囲の定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

ビューローベリタスは、全社員の日常業務活動において高い水準が保たれることを目指すためのビジネス全般にわたる倫理規定を定め、特に利害の対立を避けることに配慮しています。バンダイナムコホールディングスに対するビューローベリタスの活動は、サステナビリティ報告に対するものだけでなく、我々の検証業務がなんら利害の対立を引き起こすことはないと考えます。

温室効果ガス排出量検証報告書

株式会社バンダイナムコホールディングス 御中



2018年8月3日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、「バンダイナムコグループの CSR 活動報告 2018」において株式会社バンダイナムコホールディングス(以下、バンダイナムコホールディングス)により報告される、2017年度の温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

1. 検証範囲

バンダイナムコホールディングスはビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

スコープ 1 およびスコープ 2 温室効果ガス排出量:

バンダイナムコグループの国内事業所 413 拠点の事業活動における、2017年4月1日から2018年3月31日の期間のエネルギー起源 CO₂ 排出量

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のあるバンダイナムコホールディングスの関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、バンダイナムコホールディングスの情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・バンダイナムコホールディングスが定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

検証された温室効果ガス排出量	
スコープ 1 1,843 t-CO ₂ e	スコープ 2 (マーケット基準) 50,706 t-CO ₂ e

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に 180 年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、バンダイナムコホールディングスとのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。